

東京湾第三海堡構造物 神奈川県指定重要文化財指定記念

NPO 法人アクションおっぱま設立 10 周年記念

講演会 ” 海堡 ” って何？ ～東京湾の秘められた人工島～

夏島都市緑地内の東京湾第三海堡構造物は、すでに横須賀市指定重要文化財になっていますが(2013年3月)、2018年3月神奈川県指定重要文化財に指定されました。また最近では東京湾上にある第二海堡への上陸ツアーが企画され、第三海堡構造物の見学者も徐々に増えるなど、明治から大正にかけて建設された東京湾海堡に関心が集まっています。

そこで、改めて東京湾海堡がなぜ、どのように建設されたかについて知るとともに、遺された海堡を保存し、活用するにはどうしたらよいか、海外の事例も参考にしながら考えたいと思います。

日時：11月25日(日) 午後2時から(受付開始午後1時30分)

終了予定 午後4時20分ごろ

会場：追浜コミュニティセンター 4階集会室

定員：100名 (先着順/事前のお申し込みはいりません) 入場無料

講師と演題：

高橋悦子(東京湾海堡ファンクラブ事務局長、

土木学会・選奨土木遺産選考委員会幹事)

「人工島建設の黎明—明治から大正期」

真島秀行(お茶の水女子大学名誉教授)

「東京湾海堡建設の功労者 西田明則と和算」

岡田昌彰(近畿大学理工学部社会環境工学科教授)

「東京湾海堡の景観的意義」

主催：NPO 法人アクションおっぱま 後援：追浜地域運営協議会

(この催しは平成30年度横須賀市NPO法人補助金を得ています)